

1 日時

平成30年8月8日(水) 午後1時30分から午後2時30分まで

2 開催場所

千葉市新港学校給食センター 2階 大会議室

3 出席者

(1) 委員

大野委員、秋葉委員、上妻委員、大塚委員、中島委員(副会長)
北川委員、大濱委員(会長)、三橋委員、石井委員

(2) 事務局

森永保健体育課学校給食担当課長、桑田公会計班主査
明妻給食班主任指導主事、松山公会計班主任主事
小川新港学校給食センター所長、人見こてはし学校給食センター所長
成毛大宮学校給食センター所長、金井栄養教諭

4 議題

- (1) 平成30年度千葉市学校給食センターの予算及び事業計画について
- (2) 学校給食費公会計事業について

報告事項

- (1) 学校給食費の未納対策について

5 議事の概要

議案

- (1) 平成30年度千葉市学校給食センターの予算及び事業計画について
事務局から説明し、質疑応答が行われた。
- (2) 学校給食費公会計事業について
事務局から説明し、質疑応答が行われた。

報告事項

- (1) 学校給食費の未納対策について
事務局から報告し、質疑応答が行われた。

6 会議経過

○松山主任主事

(開会)

会議に先立ちまして、本来ですと、学校教育部長より、ご挨拶申し上げますところですが、本日所用にて欠席させていただいておりますので、学校給食センターを所管いたします、保健体育課の森永学校給食担当課長よりご挨拶申し上げます。

○森永学校給食担当課長

(挨拶)

学校給食の目的ですが、従来の栄養補給のための食事にとどまらず、食育の観点を踏まえて、学校給食の地産地消を推進し、地場農産物の導入や行事食・郷土食などを積極的に取り入れ、学校給食が「生きた教材」として活用され、食育の推進を図ることが求められています。

学校給食センターでは、本趣旨を十分理解し、学校の職員や保護者の皆様方のご理解・ご協力をいただきながら、安全で魅力ある給食づくりをとおして、積極的に取り組んでいるところでございます。

また、本年30年4月から学校給食費についてですが、小学校・中学校・特別支援学校等でこれまでの学校長が管理していた「私会計」制度から、市が給食費を歳入・歳出予算として管理する「公会計」制度へと導入しました。

なお、今回の公会計移行に伴い、徴収についても市が実施することで保護者の手数料の負担軽減のほか効率的な徴収管理を行うことで質の高い学校給食を提供することとなります。

本日の会議では、委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のないご意見やご指導をいただき、有意義な会議となりますことをお願いして、私の挨拶といたします。

○松山主任主事

続きまして、委員並びに事務局の紹介でございますが、本年6月30日を持ちまして、本運営委員会委員の任期満了となったことから、新たに推薦団体から選出いただき、10名の委員を新たに委嘱いたしましたので、お手元の席次表左席順からご紹介させていただきます。

《委員・事務局紹介》

以上でございます。

本日は、委員10名のうち、9名の出席でございます。

「千葉市学校給食センター運営委員会規則」第4条の規定によりまして、会議は成立いたしますので、ご報告いたします。

なお、本日の会議でございますが、「千葉市情報公開条例」に基づきます、公開の会議でございます。

また、議事録を市のホームページで公開する関係から録音させていただきますので、併せてご了承くださいと存じます。

それでは、会議を始める前に、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、「平成30年度第1回千葉市学校給食センター運営委員会」の「次第」、「座席表」の他、A4用紙の「議題1」から「議題2」までの資料及び冊子でございます。

そして最後に、報告事項の資料となります。

以上の資料でございますが、もし不足していましたら、事務局まで申し付け下さい。

また、本日、運営委員会において傍聴席からは2名の参加となります。

次に、千葉市学校給食センター運営委員会規則第3条第2項により、会長は委員の互選により定めるとされておりますが、事務局案といたしましては、会長を大濱委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○各委員

「異議なし」との声多数。

○松山主任主事

ありがとうございます。それでは、大濱委員、会長席の方へお願いいたします。

(大濱委員、会長席へ移動)

○松山主任主事

それでは、大濱会長よりご挨拶をお願いいたします。

○大濱会長

(挨拶)

本日はお忙しい中、台風が近づく中、お集まりいただきありがとうございます。

皆様のご推薦により、本運営委員会の会長を仰せつかっております千葉市医師会副会長の大濱でございます。よろしくお願いいたします。

平成24年度から今期で7年目になります。

私自身は、中央区で小児科を開業しております。また、小学校・中学校の学校医を務めております。

さて、本年は3名の方が新たに委員になられたとのことですが、継続して委員をされる方々、新たに委員となった方々のご協力により、本運営委員会を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

学校給食におきましては、食育の推進、食の安全、給食費の未納問題等の課題があるかと思いますが、委員の皆様方には、それぞれの立場から積極的なご意見ご指導をいただき、千葉市の子どもたちの健康の保持、増進が図られることを願ひまして、私の挨拶と代えさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

○松山主任主事

それでは、会議の議事に移りたいと存じますが、会長に議長をお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

○大濱会長

それでは、議事に入りますので、委員の皆様よろしくお願いいたします。

まず、副会長につきましては千葉市学校給食センター運営委員会規則第3条第2項により、副会長を委員の互選により選出することになりますが、中島委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○各委員

「異議なし」との声多数。

○大濱会長

ありがとうございました。

「異議なし」とのことですので、中島委員、副会長席に移動をお願いいたします。

(中島委員、副会長席へ移動)

○大濱会長

それでは、中島副会長より、ご挨拶をお願いいたします。

○中島副会長

(挨拶)

先ほど、ご紹介ありました、千葉市小中学校長運営協議会の立場で参加しております、生浜東小学校の中島と申します。

昨年度より運営委員会にお世話になり、いろいろな方がここで話されています。

そういう意味でみなさんの意見をいただき、充実した委員会になりますようよろしくお願いします。

○大濱会長

続きまして、議事録署名人の選出についてですが、中島副会長にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○各委員

「異議なし」との声多数

○大濱会長

それでは、議事録署名人を、中島副会長にお願いいたします。

○大濱会長

それでは、議事に入ります。

まず、議題1「平成30年度千葉市学校給食センター予算及び事業計画について」事務局よりお願いいたします。

○桑田主査

(議題1「平成30年度千葉市学校給食センターの予算及び事業計画について」資料により説明。)

○大濱会長

ありがとうございました。

それでは、ただいまの「議題1」の説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

○大塚委員

組織改正により第2類から第3類になったのはなぜでしょうか。

○桑田主査

給食公会計に伴って、保健体育課で一元的に徴収事務を行うため、事務の見直しを行うこととなりました。

徴収事務については今まで学校給食センターが中学校分の徴収を行っていましたが、公会計移行に伴い、保健体育課で小学校分も含めて一括して取り扱うこととなりました。

この徴収事務の移管に伴って人員配置を検討した結果、新港学校給食センターを2類から3類へ変更することとなりました。

なお、公会計については次の議題2でご説明します。

○大濱会長

他にご質問等ございますか。

○大濱会長

公会計に伴い組織が変わりましたが学校給食に関しては、今後は保健体育課で取りまとめる事ですよ。

そうすると、例えば、食育に関しても、今まで各学校で行っていたと思いますが、これからは保健体育課で一元化して指導することよろしいですか。

それとも、各学校となりますか。

○森永担当課長

おっしゃっていただいたとおり、保健体育課で各学校、各給食センターを統括しながら進めてまいります。

○大濱会長

その他、ご質問等はございませんか。

○大濱会長

それでは、議題2「学校給食費公会計事業について」事務局よりお願いいたします。

○桑田主査

(議題2「学校給食費公会計事業について」資料により説明。)

○大濱会長

それでは、ただいまの「議題2」の説明に対しまして、ご意見・ご質問等がございましたらお願いします。いかがでしょうか。

○石井委員

公会計化の実施について小学校で聞いたのですが、学校給食費は定額で引き落とす形になるのですか。

また、小学校ではアレルギーの問題で牛乳が飲めないと年度末で調整すると思いますが、できないとなるとアレルギーの対応については現場ではどのように対応しますか。

○桑田主査

学校給食費の引き落としに関してですが、実績払いで年間に食べた食数に応じて、年9回に分けて口座から引き落としする形になります。

詳しくは冊子の13ページをご覧ください、ページの左下に振替スケジュールが掲載されています。

6月25日に第1期分として4月分・5月分の給食費が引き落としになります。

各学校で1年生から6年生まで給食の実施回数が違いますので学年の給食予定回数に応じて、単価をかけて、給食費の引き落としとなります。

なお、毎月、定額ではなく、月によって増減が発生する形となります。

次に、食物アレルギー対応ですが、給食費の徴収については、完全給食・牛乳を飲まない給食・牛乳のみの給食・給食を食べない、というように徴収の金額を分けておりますので、口座から引き落としする場合は、給食を食べる生徒（牛乳含む）に対しては290円、牛乳を飲まない生徒は牛乳単価54円を差し引いた形で給食費を引き落としされます。

年度末に精算する場合とは、予定食数に対して実績食数がどうであったか、年度途中で入院した場合など実績食数が少なくなった場合などは、最終月で調整する形となります。

○石井委員

それは全部、保健体育課で取りまとめるということですか。

○桑田主査

各学校が徴収システムで食数を入力し、入力したデータは給食センターで把握することが可能であるため、取りまとめて発注等を行います。

今までは、紙ベースによる連絡等で何月何日分はこの学年・クラスは何食分で連絡確認していましたが、システム導入により学校で入力し、センターでは自動集計されたデータを基に発注ができるようになりました。

○石井委員

それを現場でやることによって事務職員は忙しくなっているということですか。

○桑田主査

事務分担は学校によって異なるため、一概には言えません。

○石井委員

わかりました、ありがとうございます。

○大濱会長

公会計化になることによって市で給食の食材を購入することになりますか。

○桑田主査

食材について、中学校は特に変更はありません。

小学校では今年度から、市の統一で購入する物、引き続き学校で購入する物と別れております。

なお、生鮮食料品については各学校で地域の八百屋、肉屋で安全・安心な鮮度の良い食材を購入する形になります。

一部、冷凍食品や値段の変動が少ない食材については、保健体育課が使用・数量等を集約したうえで、味や値段、品質を総合的に判断し、見積検討会を実施し、食材を決定します。

○大濱会長

今までと同様に小学校においては独自の献立で行うことでよろしいですか。

○桑田主査

公会計化を行っても献立につきましては引き続き独自献立で実施しています。

○大濱会長

公会計を行っている自治体はおよそどのくらい実施していますか。

○桑田主査

文部科学省の調査では40%が学校会計であり、そのうち半分は学校が給食費を徴収している方式を採用しています。

つまり従来の千葉市の中学校が給食費を徴収し、給食センターに給食費を納入するような方式です。自治体が徴収事務を全てになっているのは約20%になります。

○大濱会長

保健体育課では負担がかかるかと思いますが、人員のほうはいかがですか。

○桑田主査

学校給食センター（新港学校給食センター）の職員が公会計化に伴い、人員が3名程度減らしたうえで、保健体育課の公会計班へ増員しました。

制度の切り替えで、最初は負担がかかることもありますが、安定すれば特に問題なく運用できるものと思われま

○大濱会長

他に何かございますか。

○大濱会長

最後に報告事項として、「給食費の未納対策について」、事務局より報告をお願いいたします。

○桑田主査

（報告事項1「給食費の未納対策について」資料により説明）

○大濱会長

報告事項につきまして、何かご質問等ございますか。

○大濱会長

過去3年間ですが、少しずつ金額が上がっていると思われま

すが、どうしてでしょうか。いろいろと対策を立てていけば少しずつ金額が下がってくると思うのですが。

○桑田主査

平成27・28年度も増えてしまいましたが、原因については掴みにくいところですが、未納者数としては減少している傾向ですが、それでも一人当たりの未納金額が上がってしまっているところ

です。

納付意識の問題もあるものかと思われま

す。経済的に支払が困難な家庭に対しては就学援助等のサポートなどの対策は行っているが、それでも未納者が多いというのは納付意識の問題が高いのでは思われま

○大濱会長

児童手当からの徴収とは了承した家庭でないといけないのですか。

○桑田主査

児童手当についてはあくまでも同意が必要であることや、徴収金額等の調整があるので強制的にはできないですね。

○大濱会長

その他、ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局のほうから「その他」何かございますか。

○森永課長

その他はございません。

○大濱会長

それでは、これで「平成30年度第1回千葉市学校給食センター運営委員会」を終了いたします。
委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

では、事務局にお返しいたします。

○松山主任主事

(閉会)